

災害時の物資供給と高齢者への見守り セブン-イレブンと町が協定

11月1日、コンビニエンスストア大手の「セブン-イレブン・ジャパン」と洞爺湖町が、「洞爺湖町地域見守り活動に関する協定」と「災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定」を締結しました。内容は、災害時においてセブン-イレブンの店舗が、町の要請を受けて食料品などの商品を供給し、見守り協定では、対象店舗による高齢者への見守り活動を行うものです。

真屋町長は「有珠山を抱え、災害時の支援は心強い」と述べ、同ジャパンの内竹北海道地区ゾーンマネージャーは「災害時には、グループ全体でできる限りの物資を届けたい」と話しました。



協定書を交わす内竹マネージャー(左)と真屋町長

洞爺湖ロータリークラブ(吉田聡会長)は、昨年に続き、町内

5小中学校に書籍を贈呈しました。

11月2日、吉田会長ら3人が教育委員会を訪問し、前谷社会奉仕委員会委員長から遠藤教育長に手渡しました。贈られた図書は、1校3万円以内で各校が選択した本で、合わせて約70冊ほどです。

吉田会長は「読書は子供の心を育む。これからも継続したい」と話し、遠藤教育長は「これをきっかけに本に親しんでもらいたい」と感謝の言葉を述べました。

町内5小中学校に図書寄贈 洞爺湖ロータリークラブ



遠藤教育長に図書を手渡す前谷委員長(右)

虹田高校2年の大塚麗菜さんは、江戸川大学(千葉県流山市)が主催した全国学校キャッチフレーズコンテストで、全国689点の応募作の中から最優秀賞を受賞しました。受賞作は「海拔56メートル、笑顔の輪100メートル、皆が主役、天空の城アブタ。」

現在バレエ部に所属していて、小さいころから抱いていた小高い丘にあるバレエの強豪校としての虹田高校に対する想いを「海拔56メートル」で表し、全校合わせて約100人の小さな学校ですが、一人ひとり仲が良い学校であることをアピールしました。

大塚さんは「うれしかった。冗談かと思った」と笑顔で喜びを話しました。



最優秀賞を受賞した大塚さん

学校の良さ伝えるコンテスト 大塚さん最優秀賞

元気な歌声響く 子ども芸術文化フェスティバル

町内の小中学生が一堂に会し、合唱などを披露する「第23回洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル(同実行委員会主催)」が、11月11日洞爺湖文化センターで開かれました。各学校の文化活動を通じ、交流と親睦を深めようとするこの時期毎年行われています。

今年は、洞爺湖町合併10周年と洞爺湖温泉開湯100年を記念して、町内出身の女性シンガー綾野ましろさんがスペシャルゲストで登場し、盛りあげました。

最後に綾野さんと一緒に参加者全員で「マイバラード」を歌い、会場に元気な歌声を響かせました。



綾野ましろさんと一緒に元気な歌声を響かせた子ども芸術文化フェスティバル

まちのわだい

